

がい数

基礎

めあて 基本をたしかめよう

例題 四捨五入

四捨五入：4 以下は切り捨て、5 以上は切り上げ

例：476 を十の位で四捨五入 → 480

例：8423 を百の位で四捨五入 → 8400

1 四捨五入して、がい数にしましょう。

(1) 38 を十の位で四捨五入

(2) 753 を百の位で四捨五入

(3) 2486 を千の位で四捨五入

2 □に当てはまる言葉を選びましょう（以上・以下・未満）。

(1) 10 より大きいとか等しい → 10 ()

(2) 50 より小さい → 50 ()

ポイント：以上・以下はその数を含み、未満は含みません。

ふりかえり ◎できた ○もうすこし △むずかしかった (○をつけよう)

みなおし ()

がい数

標準

めあて 練習してなれよう

1 四捨五入して、上から 2 けたのがい数にしましょう。

(1) 2384 → () (2) 5739 → ()

(3) 12456 → () (4) 98500 → ()

2 □に当てはまる数やことばを書きましょう。

(1) 5 以上の数は ()、()、()、()、()

(2) 5 未満の数は ()、()、()、()、()

(3) 10 以下の数のうち、いちばん大きい整数は ()

3 がい数を使って、買い物のだいたいの代金を見積もりましょう。

りんご 298 円、みかん 185 円、バナナ 340 円

百の位までのがい数にして、合計を見積もりましょう。

りんご () 円 + みかん () 円 + バナナ () 円

= 約 () 円

ポイント：「以上」はその数を含む、「未満」はその数を含みません。

ふりかえり ◎できた ○もうすこし △むずかしかった (○をつけよう)

みなおし ()

がい数

応用

めあて 少し難しい問題にちょうせん

1 次の人口をがい数で表しましょう。

(1) A市の人口 238,562人

千の位までのがい数：約 () 人

万の位までのがい数：約 () 人

(2) B町の人口 45,839人

千の位までのがい数：約 () 人

2 四捨五入して百の位までのがい数にすると600になる整数のはんいを答えましょう。

() 以上 () 未満

3 がい数を使って、積を見積もりましょう。

(1) 398×42 を上から1けたのがい数にして見積もる→ () $\times$ () = 約 ()(2) 784×51 を上から1けたのがい数にして見積もる→ () $\times$ () = 約 ()

ポイント：見積もりでは、上から1けたのがい数にするとかけ算がかんたんになります。

ふりかえり ◎できた ○もうすこし △むずかしかった (○をつけよう)

みなおし ()

がい数

思考力

めあて 考え方を説明できるようになろう

1 そうたさんの考えをみて、問いに答えましょう。

そうたさんの考え

「10 以上 20 未満の整数」は、
10, 11, 12, ..., 19, 20 の 11 こ ある。

(1) そうたさんの考えは正しいですか。(正しい・まちがい)

(2) まちがいの場合、正しい答えを書きましょう。

2 次の□に当てはまる整数をすべて書きましょう。

(1) 四捨五入して百の位までのがい数にすると 1000 になる

いちばん小さい整数：()

いちばん大きい整数：()

(2) 四捨五入して千の位までのがい数にすると 3000 になる

はんい：() 以上 () 未満

3 がい数を使うと便利な場面を考えましょう。

がい数を使うと便利なのはどんなときですか。

例を 1 つ書きましょう。

ポイント：「未満」はその数を含みません。20 未満は 20 を含みません。

ふりかえり ◎できた ○もうすこし △むずかしかった (○をつけよう)

みなおし ()

がい数 まとめ

I 四捨五入して、がい数にしましょう。(各5点×4問=20点)

- (1) 67 を十の位までのがい数に $\rightarrow$ ()
- (2) 843 を百の位までのがい数に $\rightarrow$ ()
- (3) 2758 を上から 2 けたのがい数に $\rightarrow$ ()
- (4) 64500 を上から 1 けたのがい数に $\rightarrow$ ()

2 □に当てはまる数やことばを書きましょう。(各10点×3問=30点)

- (1) 5 以上 10 以下の整数は ()
- (2) 5 以上 10 未満の整数は ()
- (3) 四捨五入して百の位までのがい数にすると 500 になる
整数のはんいは () 以上 () 未満

3 がい数を使って見積もりましょう。(各 10 点 $\times$ 2 問 = 20 点)

- (1) 295 円と 408 円の合計を、百の位までのがい数にして見積もり
→ 約 () 円
- (2) 38×52 を上から 1 けたのがい数にして見積もり
→ 約 ()

4 次の問いに答えましょう。(15点×2問=30点)

- (1) 四捨五入して千の位までのがい数にすると 2000 になる
いちばん小さい整数は？ → ()
- (2) がい数を使うとよい場面を 1 つ書きましょう。
-

/ 100 点